



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社インバウンドプラットフォーム 上場取引所 東
 コード番号 5587 URL <https://www.inbound-platform.com/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 王 伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 弓場 肇 (TEL) 03-3437-3129
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績 (2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,722	13.4	124	△52.9	123	△61.8	85	△61.5
2023年9月期第3四半期	1,519	—	264	—	324	—	222	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	24.95	23.93
2023年9月期第3四半期	71.18	—

- (注) 1. 当社は、2023年6月18日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 2023年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2022年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,899	1,163	61.2
2023年9月期	1,821	1,048	57.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 1,163百万円 2023年9月期 1,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,361	13.7	179	△46.5	179	△52.3	124	△50.7	36.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	3,449,600株	2023年9月期	3,382,400株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	—株	2023年9月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	3,436,642株	2023年9月期3Q	3,126,400株

(注) 当社は、2023年6月17日を基準日として2023年6月18日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社ウェブサイトにて掲載を予定しております。

(決算説明内容の入手方法について)

当社ウェブサイトにて動画配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、訪日外国人数がコロナ禍前を超える水準に達し、宿泊・飲食サービス等を中心にインバウンド市場が活性化しております。一方、継続的な為替の変動及び物価の高止まり、並びに高まる地政学的リスク等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社モバイルネットワーク事業は広告宣伝活動を強化したこと等により、訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービスは堅調に推移しました。また、当社の強みである外国人顧客基盤や外国人向けサービスのノウハウを活かし新規サービスの開発を進め、訪日外国人及び在留外国人の生活シーンの利便性向上やさらなる収益機会の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間は、売上高1,722,586千円（前年同期比13.4%増）、営業利益124,758千円（同52.9%減）、経常利益123,934千円（同61.8%減）、四半期純利益85,751千円（同61.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第3四半期会計期間より、セグメントを従来の「Wi-Fi事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」から「モバイルネットワーク事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」に変更しております。このため、前第3四半期累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

a. モバイルネットワーク事業

当事業は、訪日外国人増加に伴い訪日外国人向けブランドのJapanWirelessが堅調に推移し、当第3四半期累計期間における売上高は1,485,892千円（前年同期比11.8%増）となりました。一方、広告宣伝費等の増加によりセグメント利益は143,076千円（同44.2%減）となりました。

b. ライフメディアテック事業

当事業は、新幹線チケットの販売が好調に推移し、当第3四半期累計期間における売上高は169,082千円（前年同期比18.0%増）となりました。一方、新規サービスの立上げに伴う投資の増加によりセグメント損失10,599千円（前年同期はセグメント利益19,750千円）となりました。

c. キャンピングカー事業

当事業は、海外の予約手配サービスと国内レンタルサービス及びモータープールサービスを展開しています。当第3四半期累計期間は、訪日外国人増加に伴い好調に推移し、前年同期比でも増加となりました。以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は65,007千円（前年同期比42.0%増）、セグメント損失は7,718千円（前年同期はセグメント損失11,215千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ78,174千円増加し、1,899,654千円となりました。

流動資産は810,762千円(前事業年度末に比べ469,990千円減少)となりました。これは主に、現金及び預金541,074千円減少、売掛金41,515千円増加、貯蔵品2,077千円増加によるものであります。固定資産は1,088,891千円(前事業年度末に比べ548,165千円増加)となりました。これは、有形固定資産50,695千円増加、無形固定資産75,810千円増加、投資その他の資産421,660千円増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ36,203千円減少し、736,409千円となりました。

流動負債は555,203千円(前事業年度末に比べ2,859千円減少)となりました。これは主に、買掛金155,930千円増加、契約負債51,053千円減少、未払法人税等110,962千円減少によるものであります。固定負債は181,206千円(前事業年度末に比べ33,344千円減少)となりました。これは主に、長期借入金33,560千円減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ114,378千円増加し、1,163,245千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加85,751千円、役員・従業員の新株予約権権利行使による資本金

及び資本剰余金の増加28,627千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想につきましては、前回発表したものより売上及び利益の下方修正を行っております。詳細は本日発表の「2024年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,204,026	662,952
売掛金	42,799	84,315
商品	7,998	9,502
貯蔵品	4,804	6,882
その他	21,123	47,110
流動資産合計	1,280,753	810,762
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	236,137	289,934
その他(純額)	56,627	53,524
有形固定資産合計	292,764	343,459
無形固定資産		
ソフトウェア	94,350	193,644
その他	96,884	73,400
無形固定資産合計	191,235	267,045
投資その他の資産		
差入保証金	29,128	421,128
その他	27,597	57,257
投資その他の資産合計	56,725	478,385
固定資産合計	540,725	1,088,891
資産合計	1,821,479	1,899,654

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,965	243,895
1年内返済予定の長期借入金	61,890	49,811
未払法人税等	110,962	—
契約負債	170,161	119,107
その他	127,084	142,388
流動負債合計	558,063	555,203
固定負債		
長期借入金	204,496	170,936
その他	10,054	10,270
固定負債合計	214,550	181,206
負債合計	772,613	736,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	337,317	351,630
資本剰余金	496,817	511,130
利益剰余金	214,731	300,483
株主資本合計	1,048,866	1,163,245
純資産合計	1,048,866	1,163,245
負債純資産合計	1,821,479	1,899,654

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,519,360	1,722,586
売上原価	632,163	710,980
売上総利益	887,197	1,011,605
販売費及び一般管理費	622,224	886,847
営業利益	264,972	124,758
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	6
補助金収入	60,000	—
受取補償金	2,767	3,493
その他	58	434
営業外収益合計	62,828	3,934
営業外費用		
支払利息	755	1,212
為替差損	152	235
上場関連費用	2,098	—
補助金返納額	—	3,299
その他	—	11
営業外費用合計	3,006	4,758
経常利益	324,794	123,934
税引前四半期純利益	324,794	123,934
法人税等	102,257	38,182
四半期純利益	222,537	85,751

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	モバイルネ ットワーク 事業	ライフメ ディアテック 事業	キャンピン グカー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	15,352	108,055	3,634	127,042	1,582	128,624
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,313,339	35,245	42,151	1,390,736	—	1,390,736
顧客との契約から生じる収益	1,328,691	143,301	45,785	1,517,778	1,582	1,519,360
外部顧客への売上高	1,328,691	143,301	45,785	1,517,778	1,582	1,519,360
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,328,691	143,301	45,785	1,517,778	1,582	1,519,360
セグメント利益又は損失 (△)	256,437	19,750	△11,215	264,972	—	264,972

(注) 1. 「その他」の区分は収益を獲得していない、または付随的な収益を稼得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	モバイルネ ットワーク 事業	ライフメ ディアテック 事業	キャンピン グカー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	67,931	158,396	5,035	231,363	2,604	233,967
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,417,961	10,685	59,972	1,488,619	—	1,488,619
顧客との契約から生じる収益	1,485,892	169,082	65,007	1,719,982	2,604	1,722,586
外部顧客への売上高	1,485,892	169,082	65,007	1,719,982	2,604	1,722,586
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,485,892	169,082	65,007	1,719,982	2,604	1,722,586
セグメント利益又は損失 (△)	143,076	△10,599	△7,718	124,758	—	124,758

(注) 1. 「その他」の区分は収益を獲得していない、または付随的な収益を稼得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期会計期間より組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、従来の「Wi-Fi事業」セグメントと

「ライフメディアテック事業」セグメントに含めていた事業の一部を統合し「モバイルネットワーク事業」といたしました。これにより、報告セグメントを従来の「Wi-Fi事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」から、「モバイルネットワーク事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」に変更しています。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	84,993千円	126,698千円